

創作推進事業制作研修会

「埼玉県立近代美術館及び」

(株)クサカバ絵具朝霞工場見学

片倉 優

2019年10月8日、午前7時半貸切バスで出発、埼玉県朝霞市膝折町の(株)クサカバ絵具朝霞工場、さいたま市浦和区の埼玉県立近代美術館に行つて来ました。参加者30名。

最初に(株)クサカバ絵具朝霞工場にて会社概要説明の後、全員で絵具の出来るまでの製造過程を担当者から説明、原料、色の調合でロープで練り、チューブ詰め工程を見学、帰り際に絵具を購入し、次の埼玉県立近代美術館に向い、館内のイタリアンレストランで昼食後美術館の講習会場で学芸員から概要説明を受けた後、各人、展示場に行つた。常設展はモネの作品「ジヴェルニーの積みわらの夕日」、ピカソの作品は静物、シャガールの作品は「二つ花束」の3点、企画展は関根伸夫の「位相大地を」、回復の記録の資料「モの派アーカイブ」関連の写真の展示、椅子の「グットデザインの椅子が置いてあり、自由に座ることが出来た。」



「工場での説明会」



「埼玉県立近代美術館」

新会員紹介

今年度、新しく会員になられた4人に、制作のきっかけや作品への取り組み、思いなどを自由に語っていただきました。皆様よりしくお願いいたします。

【伊藤美智子】

第79回YB公募展では受賞でき有難うございました。また会員になれました事、これからの制作に大変励みになりました。

三浦市に生まれ、海が好きで気がつけば作品も海の絵が多いです。写真は、「足摺岬」です。油絵でF6で描きました。まだまだ未熟ですが、F30にし、会員会友展でご披露できるように準備をしています。



「足摺岬」

この度の受賞作品「早春の港」は、地元の北条湾を描きました。今度は同じ港を、城ヶ島大橋の見える方角からF80で描こうと思います。海の絵を続けて描いて参りたいです。また、皆様に「ご披露できる様、頑張つて参ります。これからも「ご指導宜しくお願い申し上げます。」

【北野昌則】

70歳を過ぎてから、庭の草花や、野菜「コーヒーカープ」など身の回りの物を、小さなスケッチブックに鉛筆で描いたのが切っ掛けとなって、通信教育で水彩画を始めました。一年間の受講を通じて、画材や用具の扱い方、色彩の基礎知識、種々の技法、静物、風景、人物の

描き方等を学びました。何とか描けるようになったので、水彩画のグループに入れて頂き水彩画を楽しんでいます。5年前からYB公募展に、久里浜海岸のどんど焼き、浦賀の渡し、休日のごぶ板通り等を出展させて頂き、今年はYB賞を受賞することができ、会員推挙を頂きました。今回の身に余る評価を励みに、これからも質感や情感を大切にしたい絵を描きたいと思っております。



「春の訪れ」

「ご指導の程よろしくお願い申し上げます。」

【近野美保子】

この度は会員に推挙していただきありがとうございます。この粘土との出会いは今から35年程前になります。土で成形し、釉薬と火により変化する器やオブジェを長い間夢中で制作していましたが、ある日ふと人物を作りたいくなりました。土と紙、素材は違っても扱いは同じ、私はその取り組みに新たな喜びを見出したのです。

5年前、YB公募展に初めて出展し、思いがけずに賞を頂いた事は私にとって大きな励みになりました。幸い今は年間は常に迷いがありました。幸い今は厳しくも優しい素晴らしい先生に指導を受け、人体の美しさ、不思議さに感動し

楽しく作品作りをしております。どうぞこれからも宜しくお願い致します。



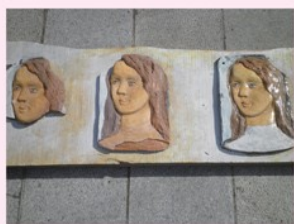
「舞う」

【村井タカ】

若い時から自分なりの作品を創りたいと思っております。

彫刻は東京造形大学で学び、銅板、シルクスクリーンは美学校、陶芸は鷹美で学びました。現在浄土宗僧侶を務めるかたわら、三浦土人形(民芸品)作家として自宅で制作に励んでいます。

創ることが大好きで心の安らぎも得ることも多かったです。その為自分の思うような納得できる作品ばかり創っています。それでもそんな私の作品を見てくださる方がいて、また何か感じて頂けるなんてとても最高です。



「無明な私 1,2,3」

縁があつて横須賀美術協会に参加させて頂き、また会員にもさせて頂き、とても嬉しいです。皆様の作品から刺激を受け、改めて自分の資質を磨き直し、人に見て頂ける作品創りに頑張りたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。